

# 元CA、マナー伝授

常総・玉小 おもてなし学ぶ

児童にマナーのポイントを解説する  
元日本航空客室乗務員の江上いずみ  
さん＝常総市若宮戸の市立玉小小学校



2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人のもてなし方を学ぶ講座が、常総市若宮戸の市立玉小小学校で開かれた。元日本航空客室乗務員（CA）で筑波大客員教授の江上いずみさんが講師を務め、空の上でのエピソードを交えながら、マナーの「イロハ」を1～6年生220人に伝授した。

江上さんは第一印象を高めるには表情、態度、身だしなみ、言葉遣い、あいさつの五つが大事と説明。「日本人は目を見て話すのが苦手だが、アイコンタクトを心掛けてほしい」「あいさつする時は相手の名前を呼

ぶ」など、項目ごとのポイントをスライドで解説した。

続いて、英語でのあいさつの仕方を指導し、子どもたちは2人一組になり、相手の目を見ながら握手の練習をした。江上さんは日本人が得意とする心遣いの大切さについても語り、「どつすれば相手が喜ぶのかをよく観察し、それに応じて声を掛けることが『おもてなしの心』です」と説いた。

講座を聴いた6年生の児童は「海外のマナーを学んで勉強になった。これからは英語でのあいさつがしっかりできる人になりたい」と話した。（今橋憲正）